

# 美術館だより

## 企画展案内

### 「ピカソ展」

マリナー・ピカソ・コレクション

会期 5月16～6月21日  
会場 県立美術館

パブロ・ピカソは二十世紀美術最大の巨匠といわれ、絵画のみならず彫刻、陶芸、版画など様々な分野において極めて多彩かつ重要な活動をくりひろげました。ピカソがその生涯に制作した作品は数万点にも及ぶといわれていますが、ピカソの死後そのアトリエや住居から発見された多くの作品は、とりわけ質の高いものとして広く世界の注目を集めました。そしてそれらの作品は、遺族とフランス国家とに相続され、それぞれがピカソ芸術の重要なコレクションとなつていきます。

本展は、ピカソ直系の孫娘であるマリナー・ピカソ夫人のコレクションから選りすぐった油絵、素描、陶芸百五十点を展覧するものです。初期から晩年に至るこれらの作品は、いづれもピカソ芸術の特質を知るにふさわしいものばかりです。今世紀の美術に重大な変革をもたらした天才ピカソの作品を、この機会に心ゆくまで鑑賞下さい。

### ■観覧料

一般・大学生 八〇〇円(六五〇円)  
高校 生 六〇〇円(四五〇円)  
小・中学生 四〇〇円(三〇〇円)  
※( )内は二十名以上の団体料金

■休館日 毎週月曜日

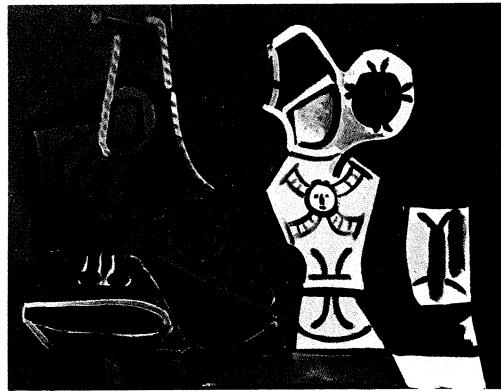
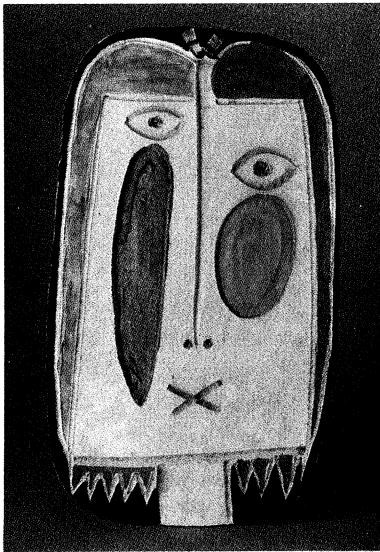
■夜間開館日 五月二十二日(金)・二十九日(金)・六月五日(金)・十二日(金)・十九日(金)は午後八時までご覧いただけます。(入館は七時二十分まで)



風景 1901年

マンドリン・壺・びん 1959年

四隅の丸い  
長方形の陶板



### 講演会

#### ピカソ—愛と芸術—

五月三十一日(土)午後一時二十分  
講師 瀬木慎一氏(美術評論家)  
会場 美術館講堂(入場無料)

### 62年度の企画展 (5月以降)

企画展名	会期
ピカソ展 —マリナー・ピカソ・コレクション—	5.16(土)⇒6.21(日)
第2回具象絵画ビエンナーレ	6.27(土)⇒7.26(日)
20世紀・世界の美術 大原美術館所蔵品展	8.1(土)⇒9.6(日)
大山忠作展	9.12(土)⇒10.11(日)
現代東北美術の状況展 II	10.17(土)⇒11.23(日)
今日の北欧デザイン展	2.13(土)⇒3.21(日)

● 拡大常設展/前期 12.5(土)⇒12.20(日)  
● 拡大常設展/後期 1.9(土)⇒1.31(日)

### 常設展

四～六月は六十二年度第一期の展示となります。

日本画では、戦後の日本画壇に個性的な新風を送った横山操の作品「關迫る」を久し振りに展示します。国内洋画では、昨年の「関根正二とその時代」展を機に当館へ寄託となった「井上郁像」「菊川橋の辺り」を展示します。二点とも、同展で初めて紹介されたもので、関根の数少ない油彩の作品として見ごたえのあるものです。また版画の分野では、創作版画に替えて現代版画を展示します。萩原英雄の「石の花」、清宮質文の「火屋の中」など。

今年も当館の常設展をお楽しみください。